

TAKARAZUKA CITY COUNCIL

宝塚市議会概要

令和6年度（2024年度）

令和6年4月

目 次

《市 勢》

1	あらし	1
2	人口・面積	2
3	市長	2
4	姉妹都市提携	2
5	市のシンボル	2
6	名誉市民など	2
7	宝塚市大使	2
8	宝塚市観光大使	2
9	財政	3

《議会の概要》

1	市議会基本条例	5
2	議員	5
3	議会構成	5
4	党・会派別議員数	5
5	委員会等	5
6	活動状況	6
7	議員報酬等	7
8	政務活動費	7
9	視察旅費	7
10	議会報	7
11	インターネット中継	8
12	議会報告会、意見交換会	8
13	会議録	8
14	図書室	8
15	議会関係予算	8
16	事務局	9

《市 勢》

1 あらまし

宝塚市は兵庫県の南東部に所在する都市で、地理的には大阪平野の北西角に位置し、大阪・神戸に近接した交通至便な土地にあります。

まちの南側に広がる平野部の向こうには、遠く大阪湾が望めます。西は六甲山系、北は長尾山系の山々に囲まれており、市街地の中心部を武庫川が流れる緑ゆたかな住宅都市です。

市制施行は、昭和29年(1954年)4月1日。当時の人口は40,579人でした。

武庫川を挟んで向かい合っていた2つの町と村、武庫郡良元村と川辺郡宝塚町が合併し宝塚市は誕生しました。

さらに、翌30年(1955年)には、隣接する長尾村と西谷村を合併して、現在の市域がほぼできあがりました。



宝ものがいっぱい詰まった「宝塚」。そんな非常に縁起の良い地名は、古くは元禄時代の地誌『摂陽群談』(1701年)にも記されています。

この名前が広く世に知られるようになったのは、明治時代に武庫川の近くで発見された温泉に「宝塚温泉」と名前が付けられた頃からのことです。

さらには、明治43年(1910年)、大阪から宝塚まで、現在の阪急電鉄(箕面有馬電気軌道)が開通。その乗客誘致のために開発された遊園地の中で、大正3年(1914年)に少女歌劇が初めて公演され、それが、今の「宝塚歌劇」へと発展してきました。

このように、明治以降は歌劇と湯の町として発展してきた宝塚ですが、市制施行後は、戦後の高度経済成長の波に乗って人口が急増し、住宅都市としての側面が強くなってきました。

おしゃれでモダンな都市というイメージが強い宝塚市ですが、このあたり一帯は温暖な気候に恵まれ、古くから人々が暮らした土地でもあります。

聖徳太子が建立したと伝えられる「中山寺」、平安時代に創建された「清荒神清澄寺」など、歴史ある寺社仏閣も広く知られています。

また、市内東部にある「山本地区」は千年の歴史を誇る植木の産地であり、園芸史上、画期的とされる「接ぎ木」の技術を開発した土地と言われています。

このほか、市域の南端にはJRA日本中央競馬会が運営する阪神競馬場があり、山麓部には8か所のゴルフ場が点在するなど、大都市近郊のレクリエーション都市といった側面も有しています。

2 人口・面積（令和6年4月1日現在）

推計人口	男	101,115人
	女	120,076人
	計	221,191人
世帯数		96,836世帯
人口密度		2,171人/km ²
産業別就業人口 (令和2年国勢調査)	第1次産業	814人 (0.9%)
	第2次産業	17,031人 (18.0%)
	第3次産業	73,898人 (77.9%)
	分類不能	3,115人 (3.2%)
	計	94,858人
市域面積		101.89km ²

3 市長

山崎 晴恵（令和3年4月19日就任）

4 姉妹都市提携

島根県松江市

オーガスタ・リッチモンド郡（アメリカ合衆国）

ウィーン市第9区（オーストリア共和国）

5 市のシンボル

市の花 スミレ、ダリア

市の木 サザンカ、ヤマボウシ

市の鳥 ウグイス、セグロセキレイ

6 名誉市民など

<名誉市民> 小林 一三 平塚 嘉右エ門 小野 兵一 春日野 八千代 手塚 治虫

<特別名誉市民> 木接太夫（坂上頼泰公）

<国際友好名誉市民> ボブ・ヤング（元オーガスタ市長）

<市民栄誉賞> 宝塚歌劇団

7 宝塚市大使

河内 厚郎 木村 佳友 榊原 史子 笑福亭 呂鶴 田辺 真人 程 一彦
手塚 眞 寺内 健 中辻 悦子 間 寛平 榛名 由梨 細川 貂々
前川 裕美 南 里沙 村田 由香里 元永 定正 やすみ りえ 吉田 輝
吉田 義男

8 宝塚市観光大使

リボンの騎士「サファイア」

9 財政

(1) 各会計別予算（当初予算）

区 分		令和6年度（千円）	令和5年度（千円）	対前年度比 （%）
一 般 会 計		90,550,000	88,400,000	102.4
特 別 会 計	国民健康保険事業費	22,067,200	22,629,300	97.5
	国民健康保険診療施設費	131,300	159,500	82.3
	介護保険事業費	23,261,800	23,599,800	98.6
	後期高齢者医療事業費	5,140,200	4,808,800	106.9
	財 産 区	83,529	128,111	65.2
	宝塚市営霊園事業費	277,839	228,468	121.6
	特別会計 合計	50,961,868	51,553,979	98.9
企 業 会 計	水 道 事 業	8,876,814	9,331,739	95.1
	病 院 事 業	16,100,012	15,937,725	101.0
	下 水 道 事 業	8,214,663	7,361,884	111.6
	企業会計 合計	33,191,489	32,631,348	101.7
全 会 計 合 計		174,703,357	172,585,327	101.2

※令和6年度当初予算より、9つの財産区特別会計を1つに統合した。

(2) 一般会計の内訳（令和6年度当初予算）

歳 入			歳 出		
款	予算額(千円)	構成比(%)	款	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	35,198,622	38.9	議 会 費	492,845	0.6
地 方 譲 与 税	449,451	0.5	総 務 費	9,080,004	10.0
利 子 割 交 付 金	22,000	0.0	民 生 費	42,169,822	46.6
配 当 割 交 付 金	360,000	0.4	衛 生 費	8,349,118	9.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	505,000	0.6	労 働 費	69,664	0.1
法 人 事 業 税 交 付 金	308,000	0.3	農 林 業 費	262,944	0.3
地 方 消 費 税 交 付 金	4,778,000	5.3	商 工 費	573,524	0.6
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	201,000	0.2	土 木 費	7,496,035	8.3
環 境 性 能 割 交 付 金	112,000	0.1	消 防 費	2,967,641	3.3
国 有 提 供 施 設 等 所 在			教 育 費	11,594,578	12.8
市 町 村 助 成 交 付 金	22,000	0.0	災 害 復 旧 費	1	0.0
地 方 特 例 交 付 金	1,273,661	1.4	公 債 費	7,277,311	8.0
地 方 交 付 税	7,862,000	8.7	諸 支 出 金	116,513	0.1
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	30,000	0.0	予 備 費	100,000	0.1
分 担 金 及 び 負 担 金	767,491	0.8			
使 用 料 及 び 手 数 料	2,043,876	2.3			
国 庫 支 出 金	16,270,555	18.0			
県 支 出 金	6,576,965	7.3			
財 産 収 入	419,138	0.5			
寄 附 金	820,907	0.9			
繰 入 金	4,275,578	4.7			
繰 越 金	1	0.0			
諸 収 入	2,217,455	2.4			
市 債	6,036,300	6.7			
合 計	90,550,000	100.0	合 計	90,550,000	100.0

(3) 令和4年度決算状況

歳 入 総 額	91,037,273 千円	財 政 力 指 数	0.845
歳 出 総 額	89,536,890 千円	実 質 収 支 比 率	2.6 %
歳 入 歳 出 差 引 額	1,500,383 千円	実 質 公 債 費 比 率	4.6 %
実 質 収 支	1,207,341 千円	積 立 金 現 在 高	16,808,154 千円
単 年 度 収 支	△1,176,021 千円	地 方 債 現 在 高	70,659,380 千円
実 質 単 年 度 収 支	17,630 千円	経 常 収 支 比 率	93.7 %

(4) 市税の概要（令和4年度決算）

区 分	決算額(千円)	構成比(%)	区 分	決算額(千円)	構成比(%)
市 民 税	18,341,144	50.3	市 た ば こ 税	957,560	2.7
個人分	17,278,189	47.4	入 湯 税	16,333	0.0
法人分	1,062,955	2.9	都 市 計 画 税	3,206,467	8.8
固 定 資 産 税	13,683,519	37.5			
軽 自 動 車 税	266,649	0.7	合 計	36,471,672	100.0

《議会の概要》

1 市議会基本条例

平成23年4月1日施行

2 議員

- ・ 条例定数 26人 現員数 25人 (欠員1)
- ・ 任期 令和5年4月30日～令和9年4月29日
- ・ 定数条例 平成14年9月27日条例制定時 30人
平成18年2月15日条例改正 26人に変更

3 議会構成

議長 富川 晃太郎 (就任：令和5年5月18日)
副議長 梶川 みさお (就任：令和5年5月18日)
監査委員 村松 あんな (就任：令和5年5月18日)
(議会選出)

4 党・会派別議員数 (令和6年4月15日現在)

会派	党派	自由民主党	公明党	日本維新の会	社会民主党	日本共産党	立憲民主党	無所属	計
たからづか真政会		5						2	7
無所属・日本維新の会宝塚市議団				4				1	5
公明党議員団			4						4
市民ネット宝塚							1	2	3
ともに生きる市民の会					2		1		3
日本共産党宝塚市会議員団						2			2
会派に属さない議員								1	1
計		5	4	4	2	2	2	6	25

5 委員会等

(1) 常任委員会

名称	定数	所管事項
総務常任委員会	8人	企画経営部、総務部及び会計課の所管に関する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
文教生活常任委員会	9人	市民交流部、健康福祉部、子ども未来部、市立病院及び教育委員会の所管に関する事項
産業建設常任委員会	8人	都市安全部、都市整備部、環境部、産業文化部、消防本部、上下水道局及び農業委員会の所管に関する事項

※ 平成25年9月6日条例改正により、議長は常任委員にならないものとした。

(2) 特別委員会

- ・ 予算特別委員会（当初予算審査時に設置）
- ・ 決算特別委員会（決算審査時に設置）

(3) 議会運営委員会

平成5年7月13日に条例化している。申し合わせにより、所属議員3人以上の会派から1人、以後、所属議員が3人増すごとに1人を選出。

- ・ 定数 8人以内 現員数 6人
- ・ 任期 1年

(4) 協議又は調整を行うための場

名 称	目 的	構 成 員
議員総会	市政に関する事項について協議し、及び議会の組織及び運営に関する事項について協議し、又は調整すること。	全議員
会派代表者会	会派間の意見、その他議会運営全般にわたり必要があると認める事項について協議し、又は調整すること。	議長、副議長及び会派代表者
議会改革検討委員会	議会改革の取り組みを検証し、及び継続させること。	議長、副議長及び会派から選出された議員
広報広聴委員会	議会広報活動及び市民への広聴活動を行うこと。	会派から選出された議員
常任委員長会議	常任委員会の開催について協議し、又は調整すること。	議長、常任委員長
正副委員長会議	各委員会の運営について協議し、又は調整すること。	各委員会の正副委員長
議員研修会	議会運営上の協議、又は研修を行うこと。	全議員
常任委員協議会	議案の審査又は委員会運営上必要と認める事項について協議し、又は調整すること。	各常任委員

6 活動状況（令和5年1月～令和5年12月）

(1) 本会議

定例会 回数4回 会期154日 本会議日数22日
臨時会 回数1回 会期 2日 本会議日数 1日

(2) 委員会

開催日数 議会運営委員会 16日
総務常任委員会 14日
文教生活常任委員会 13日
産業建設常任委員会 15日
予算特別委員会 7日
決算特別委員会 7日
行財政経営に関する調査特別委員会 1日

(3) 協議又は調整を行うための場（主なもの）

開催日数	議員総会	6日
	会派代表者会	16日
	議会改革検討委員会	6日
	広報広聴委員会	16日

7 議員報酬等（月額）

議長	682,600円	（自主カット後の額、令和9年4月29日まで）
副議長	613,300円	〃
議員	563,000円	〃
市長	965,100円	（自主カット後の額、令和7年4月18日まで）
副市長	819,400円	〃
教育長	720,100円	〃

※ 議員の会議出席にかかる費用弁償は支給していない。

- ・議長、副議長、議員……「宝塚市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」
- ・市長、副市長、教育長……「宝塚市特別職の職員の給与に関する条例」

8 政務活動費

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び議員に対して四半期ごとに交付している。交付額は議員1人月額7万6千円で、うち各会派ごとに申し出た額を各会派分として交付し、その残額を議員交付分として交付する。

（改定の経過）

平成19年5月1日	以降交付分から	収支報告書に領収書等の証拠書類の添付を義務化
平成23年4月1日	1人月額10万円から	8万円に改定
平成25年4月1日	会派交付から、	会派交付と議員交付の按分方式に変更
平成30年4月1日	政務活動費の	用途について会派及び議員の説明責任を条例に明記
令和3年4月1日	1人月額8万円から	7万6千円に改定

9 視察旅費（年1人当たり）

常任委員会	113,000円
議会運営委員会	72,000円
特別委員会	62,000円
その他委員会	62,000円

10 議会報

- ・名称 市議会報「かけはし」
- ・創刊 昭和49年7月31日
- ・発行 年4回（各定例会終了後）
- ・発行部数 1回 約110,000部
- ・印刷 オフセット輪転機印刷
- ・配布方法 全戸に宅配（市広報と同時配布）

1.1 インターネット中継

- (1) 本会議
平成24年9月定例会から実施（ライブ配信・録画配信）
- (2) 委員会
令和6年3月定例会から実施（ライブ配信・録画配信）

1.2 議会報告会、意見交換会

- (1) 議会報告会
平成23年6月定例会分から実施
定例会ごとに開催
- (2) 意見交換会
平成26年度から実施
毎年2回開催
※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず。

1.3 会議録

- ・発行部数 12部
(ホームページ充実にともない、平成16年度から大幅に発行部数を減じた。)
- ・配布先 市民資料閲覧コーナー等

1.4 図書室

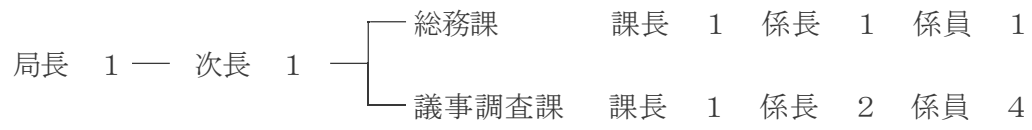
- ・令和6年度図書購入費（予算） 340,000円
- ・蔵書数 5,520冊

1.5 議会関係予算（当初予算）

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年度 比(%)
	当初予算額(千円)	構成比(%)	当初予算額(千円)	構成比(%)	
1 議会費	489,896	99.4	531,942	99.4	92.1
報酬	173,716	35.3	181,234	33.8	95.9
給料	53,437	10.8	54,566	10.2	97.9
職員手当等	116,173	23.6	115,141	21.5	100.9
共済費	70,718	14.3	71,419	13.4	99.0
災害補償費	1	0.0	1	0.0	100.0
報償費	974	0.2	493	0.1	197.6
旅費	7,237	1.5	7,401	1.4	97.8
交際費	500	0.1	500	0.1	100.0
需用費	8,962	1.8	6,526	1.2	137.3
役務費	3,980	0.8	3,431	0.6	116.0
委託料	18,279	3.7	13,246	2.5	138.0
使用料及び賃借料	3,335	0.7	1,958	0.4	170.3
備品購入費	6,551	1.3	50,257	9.4	13.0
負担金補助及び交付金	26,033	5.3	25,769	4.8	101.0
2 特別委員会費	2,949	0.6	2,949	0.6	100.0
報償費	66	0.0	66	0.0	100.0
旅費	1,911	0.4	1,911	0.4	100.0
役務費	972	0.2	972	0.2	100.0
合計	492,845	100.0	534,891	100.0	92.1

16 事務局

・ 条例定数 15人 現員数 12人



宝塚市議会事務局

665-8665 兵庫県宝塚市東洋町1番1号

TEL 0797-77-2168 (議事調査課 直通)

FAX 0797-74-6902

E-mail m-takarazuka0178@city.takarazuka.lg.jp

(2024.4.18)